

保護者・ご家族のみなさまへ



きゃっちボール

県立あわじ特別支援学校 相談支援部

第36号 令和8年3月3日発行

梅のつぼみもふくらみはじめ、春の訪れを感じる季節となりました。保護者のみなさまには、多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。みなさまのお陰で、子どもたちは充実した学校生活を送ることができ、大きく成長することができました。心より感謝申し上げます。

34名のご卒業されるみなさん、おめでとうございます。卒業式を迎え、それぞれの道へと飛び立とうとしています。これまでの出会いに感謝の気持ちを忘れず、これからの出会いに希望をもって頑張ってください。応援しています。



高等部：男子14名 女子9名 計23名

【進路】 福祉施設通所 15名

一般就労 8名

(見込み含む)

中学部：男子5名 女子2名 計7名

小学部：男子1名 女子3名 計4名



「就労選択支援事業」がはじまりました



令和7年10月1日から、障がいのある人が就労先や働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する「就労選択支援事業」が開始されました。

就労選択支援の主な内容

①作業場面を活用した状況把握(アセスメント)

短期間の生産活動等を通じて、就労に関する適性等の評価や意向等を整理します

②多機関連携によるケース会議

利用者や関係機関を招集して多機関によるケース会議を開催します

③アセスメントシートの作成

アセスメントやケース会議を踏まえアセスメント結果を作成し、利用者や相談支援機関等に伝えます

④事業者等との連絡調整

アセスメント結果を踏まえ、関係機関等との連携調整を行います

【利用対象者】

卒業後、就労移行支援や就労継続支援の利用を検討している人
→特別支援学校の生徒は主に高等部2年生時に実施

【手続きのご案内】 お問い合わせは各市の担当課までお願いします。

淡路市地域福祉課 TEL 0799-64-2510

洲本市福祉課 TEL 0799-22-3332

南あわじ市福祉課 TEL 0799-43-5216

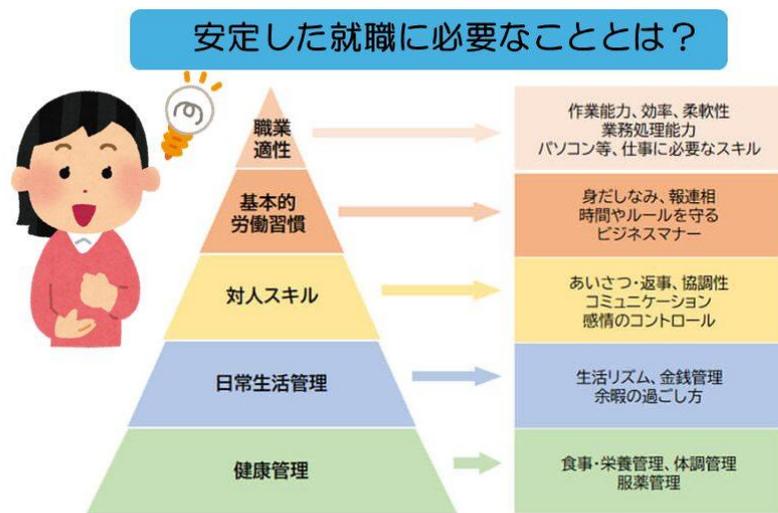
「就労準備性」ってなに



「就労準備性」とは、「働く上で必要とされる基礎的な能力」のことをいいます。これは、あらかじめ家庭や学校で身につけておくべき力で、図の就労準備性ピラミッドの土台部分に当たります。

図を見ていただくと分かるように、このピラミッドは就労に向けての基礎的な能力から順に積みあがっています。いくら能力が高く、職業適性があったとしても、土台である「健康管理」がしっかりとできていないとピラミッドが崩れてしまい、能力が十分に発揮できなったり、長く就労を続けることが難しくなったりします。

「土台」となるこれらの力は、簡単に身に付くものではなく、時間をかけて意識的に育てられていくことが重要です。学校ではこの部分を「自立活動」として学校生活の中で育てています。



就労準備性ピラミッド

障がい者就労移行支援事業所サンビレッジ HP より

令和7年度 年度末の個別懇談について



今年度も1年間の締めくくりとして個別懇談を行います。日程は、3月5日(木)、6日(金)(高等部3年を除く)となっております。

懇談の際には、今年度の学習状況や合理的配慮の内容などについて個別の教育支援計画をもとにご報告させていただきたいと考えています。そして、来年度に向けて保護者様のご希望をお聞きし、お子様の今後の目標や合理的配慮の再検討などについて、ご相談できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。